

第1回 弥生時代の日本

1. 弥生時代の始まり

- 約2400年前（紀元前4世紀ごろ）、中国や_____から米作りの技術が_____へ伝えられた。_____は、東日本へ広まっていった。

2. 弥生時代の出土品

- 米のにたきや保存に適した_____
- 稲の穂をつみ取るための_____
- 水田を歩くためにはいた_____
- 祭りの道具として使われた銅鐸や銅剣などの_____
- かまやくわの先につけて使われた_____

3. 弥生時代の生活

- 人々は_____に住み、むらのまわりをほりて囲んでいた。
- 食料は米だけでなく、きのこなどの_____、狩り、漁も引き続き行われていた。
- 収穫した稲の穂は、_____などのくふうをした_____にたくわえられていた。

4. 弥生時代の遺跡

- 福岡県の_____では、紀元前4世紀ごろの、静岡県の_____では、紀元前2世紀ごろの水田あとなどが発見された。

第2回 弥生時代から古墳時代へ

1. むらからくにへ

- 弥生時代の後半には、_____の差が生まれた。むらの_____は、特別なひつぎに葬られた。
- むらどうしの_____が起こり、大きなむらは小さなむらを従えて_____となった。

2. 吉野ヶ里のむら

- 吉野ヶ里遺跡は、まわりを_____やさくで囲まれていた。
- _____には、祭りの道具などが収められていた。

3. 中国の歴史から見た弥生時代

- 中国の人々は、日本のことを_____と呼んでいた。
- 1世紀の日本…_____国の王は、中国の皇帝から金印を授けられた。
- 3世紀の日本…_____の女王_____が中国の皇帝から「倭王」の称号などを授けられた。

4. 古墳時代の幕開け

- 3世紀後半から_____を中心に、_____の墓として古墳を造る。
- 古墳の上やまわりに_____が置かれた。

5. 古墳の分布

- 大和地方や大阪府南部を中心に四角形と円形を組み合わせた_____、
が広がる。大阪府の_____が最大。

第3回 ^{やまとちょうてい}大和朝廷の^{しはい}支配

1. 国土^{とういつ}統一が進む

- 近畿地方中央部など、大きな古墳が多い地方には、強い _____ を持つ支配者がいた。
- _____ につかえる豪族は、共通の祖先を持つ _____ という集団をつくり、 _____ という称号をあたえられ、代々決まった仕事についていた（ _____ 制度）

2. 東アジアの様子

- 5世紀後半、 _____ は大王を名のり、中国の皇帝へ手紙を送った。
- 朝廷は、 _____ の国々と交流を持ち、進んだ技術を取り入れた。

3. ^{とらいじん}渡来人と大陸文化

- 朝鮮半島や中国から一族でまとまって日本に移り住んだ _____ は、かんがい用の _____ を造る技術や高級な絹織物を作る _____ の技術を伝えた。

4. ^{こふん}古墳時代の文化

- _____ は、ろくろで形を作り、高温の _____ で焼いた土器。まつりの道具などに使われた。
- インドでおこった _____ は、中国や朝鮮半島の _____ をへて _____ 世紀に日本に伝わった。